

第8回 日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム

家庭内ワンヘルスの取組み

—人と動物における薬剤耐性（AMR）の実態と課題—

開催日時：平成30年11月16日（金）13:00～16:30

開催場所：日本医師会大講堂（文京区本駒込2-28-16 日本医師会館1階）

挨拶：横倉義武（公益社団法人日本医師会会長）
蔵内勇夫（公益社団法人日本獣医師会会長）

講演内容：

〔医療分野（30分×3）〕

- 1 人から分離されるキノロン耐性菌の現状
石井良和（東邦大学医学部微生物・感染症学講座）
- 2 医療における基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ産生菌の現状
遠藤史郎（国際医療福祉大学塩谷病院）
- 3 医療で重要なペット由来薬剤耐性大腸菌の現状
佐藤豊孝（札幌医科大学医学部微生物学講座）

〔獣医療分野（30分×3）〕

- 4 小動物臨床領域での耐性菌の現状
村田佳輝（千葉県獣医師会副会長、むらた動物病院院長）
- 5 薬剤耐性（AMR）対策アクションプランに基づくJVARM（Japanese Veterinary Antimicrobial Resistance Monitoring System）の強化について
—愛玩（伴侶）動物のモニタリングの取組みも含めて—
川西路子（農林水産省動物医薬品検査所）
- 6 動物から分離される *Clostridioides (Clostridium) difficile* の検出状況とヒトとの関連
臼井 優（酪農学園大学獣医学群食品衛生学）

〔総合討論（30分）〕

座長 賀来満夫（東北大学教授）
田村 豊（酪農学園大学教授）